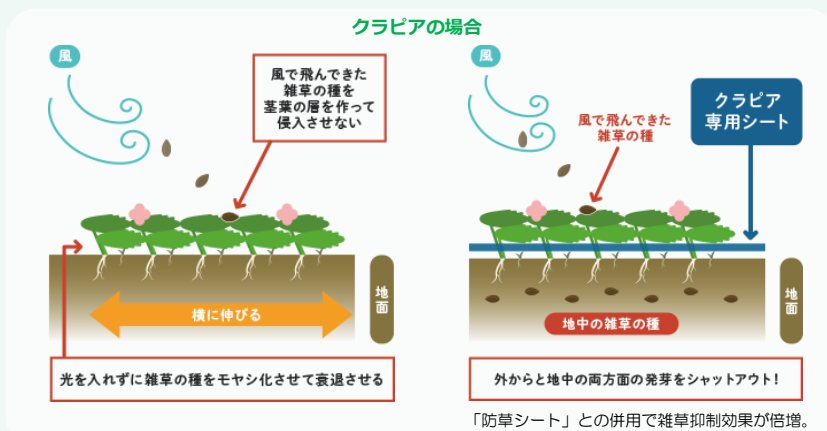
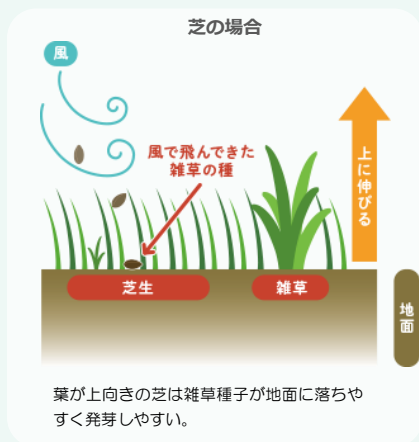


01. 雑草低減効果

幾重にも重なり生育するクラピアは飛来した雑草種子が地面に落ちにくく発芽しにくいことから、雑草種子の侵入を抑制する効果が期待されます。



03. 土壌流出防止

クラピアの根は土壌深く張り、根量が多いことが特長です。この根が地下深くまで直根を伸ばすことでしっかり土壌を抑え、法面保護や土留めの効果を発揮します。根が深く伸びると乾燥にも強くなり、全面被覆後は水やりも不要です。



「6ポット/m²」植付後2か月で被覆



クラピアと芝の根を比較

04. 繁殖スピード

芝の約10倍の速さで広がる生長スピードもクラピアの大きな特長の一つです。生長期（5月～8月）に4ポット/m²で植栽するとおおよそ2～3か月で地表面を覆います。

クラピアの被覆経過



植栽直後(6月)



32日目



53日目

07. 耐踏圧性

クラピアは、全体に被覆した後に上を歩いたり踏んでいただいても問題なく利用でき、踏まれる事で葉が小さくなり、より緻密なマット状に繁殖して花数も少なくなるという特長があります。芝生が擦り切れるような場所ですとクラピアも擦り切れてしましますが、成長の早いクラピアは短期間に回りから再生し被覆します。



踏圧による生長比較

踏まれていない部分

踏んだ部分

08. 多年生植物

クラピアは多年草です。一度植えると毎年被覆し、開花も楽しめます。日平均気温10℃以下になると休眠に向かいますが、翌春に芽吹いてグリーンが広がります。



開花期(5月～8月)



休眠期(1月～)

※写真は当社栃木県小山市での様子。

常緑ではありませんので休眠時期は褐色になります。冬でも暖かい地域や、南側の面で日照のよい所などは、完全に休眠しない場合もあります。